

注3

大学番号：国073

# 意見伺い

[平成23年度設置]

計画の区分：研究科以外の教育研究上の基本となる組織（学府）の  
専攻に係る課程の変更

注1

## 九州大学大学院統合新領域学府 ユーザー感性学専攻（博士後期課程）

注2

### 【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 九州大学  
平成25年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	
係員	オオツカ ヒロフミ 大塚 博文
電話番号	092-642-2105
（夜間）	092-642-2105
F A X	092-642-2113
e-mail	syshoki@jimu.kyushu-u.ac.jp
工学部等総務課庶務係	
係員	マツオ ヨウコ 松尾 陽子
電話番号	092-802-3857
（夜間）	092-802-3857
F A X	092-802-2712
e-mail	kossyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	6
3	施設・設備の整備状況, 経費	8
4	既設大学等の状況	9
5	教員組織の状況	15
6	留意事項に対する履行状況等	18
7	その他全般的事項	19

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 九州大学

## (2) 大学名

九州大学

## (3) 大学の位置

〒812-8581  
福岡県福岡市東区箱崎6丁目10番1号

〒819-0395  
福岡県福岡市西区元岡744番地

(〒812-8581  
福岡県福岡市東区箱崎6丁目10番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ア리카ワ セツオ) 有川節夫 (平成20年10月1日)		
理事	(イマイズミ カツミ) 今泉勝己 (平成20年10月1日)		理事の交代 平成24年4月1日 (24)
	(オチアイ ヒデトシ) 落合英俊 (平成20年10月1日)		
	(クラチ コウトク) 倉地幸徳 (平成22年4月1日)	(キクカワ リツコ) 菊川律子 (平成24年4月1日)	
	(タカヤナギ リョウイチ) 高柳涼一 (平成23年1月1日)		

	( フジキ ユキオ ) 藤 木 幸 夫 (平成22年10月1日)		
	( マルノ シュンイチ ) 丸 野 俊 一 (平成20年10月1日)		
	( モトキ アキヨシ ) 本 木 章 喜 (平成22年8月1日)		
	( ヤスウラ ヒロト ) 安 浦 寛 人 (平成20年10月1日)		
学 府 長	( モリタ ヨシツグ ) 森 田 昌 嗣 (平成23年4月1日)		
専 攻 長	《ユーザー感性学専攻》 ( ワタヌキ シゲキ ) 綿 貫 茂 喜 (平成23年4月1日)	《ユーザー感性学専攻》 ( キヨスミ マサヒロ ) 清 須 美 匡 洋 (平成24年4月1日)	専攻長の交代 平成24年4月1日 (24)
	《オートモーティブサイエンス専攻》 ( ウチヤマ マコト ) 内 山 誠 (平成23年4月1日)	《オートモーティブサイエンス専攻》 ( ムラセ エイチ ) 村 瀬 英 一 (平成25年4月1日)	専攻長の交代 平成25年4月1日 (25)
	《ライブラリーサイエンス専攻》 ( オカザキ アツシ ) 岡 崎 敦 (平成23年4月1日)	《ライブラリーサイエンス専攻》 ( ミワ ムネヒロ ) 三 輪 宗 弘 (平成25年4月1日)	専攻長の交代 平成25年4月1日 (25)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成23年度開設の博士後期課程の場合(平成25年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
統合新領域学府 ユーザー感性学専攻  博士(感性学) 博士(芸術工学) 博士(学術)	3年	4人	12人	基礎となる学部等  芸術工学府、人間環境学府、システム情報科学府

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員超過率	備考
	平成23年度	平成23年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	4人 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	4人 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	4人 ( ) [ ]	- ( ) [ ]	1.33倍	
志願者数	10 (2) [2]	- ( ) [ ]	7 (3) [2]	- ( ) [ ]	2 (1) [0]	- ( ) [ ]		
受験者数	10 (2) [2]	- ( ) [ ]	7 (3) [2]	- ( ) [ ]	2 (1) [0]	- ( ) [ ]		
合格者数	8 (2) [2]	- ( ) [ ]	6 (2) [2]	- ( ) [ ]	2 (1) [0]	- ( ) [ ]		
B 入学者数	8 (2) [2]	- ( ) [ ]	6 (2) [2]	- ( ) [ ]	2 (1) [0]	- ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	2.00		1.50		0.50			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 2 ] 8	[ - ] -	[ 2 ] 6	[ - ] -	[ 0 ] 2	[ ]	
2年次	/		[ 2 ] 8	[ - ] -	[ 2 ] 6	[ ]	
3年次	/		/		[ 2 ] 8	[ ]	
計	[ 2 ] 8		[ 4 ] 14		[ 4 ] 16		

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	8人	0人	平成23年度	0人	0人		0%
			平成24年度	0人	0人		
			平成25年度	0人	0人		
平成24年度 入学者	6人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
			平成25年度	0人	0人		
平成25年度 入学者	2人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
合計	16人	0人					0%

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                                ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<ユーザー感性学専攻（博士後期課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教		助手
特別研究	ユーザー感性学特別研究	1~3通	12				6	2				
分野専門科目	感性科学特論	1前		2			3	1				オムニバス
	感性コミュニケーション特論	1前		2			2					オムニバス
	感性価値クリエーション特論	1前		2			1	1			兼1	オムニバス
	上級PTL演習A	1後		2			1	1				
	上級PTL演習B	1後		2			2					
	上級PTL演習C	1後		2			1	1				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成25年度に設置された大学等は設置時）より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

### (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 6	科目 0	科目 7	科目 [ 0 ]	科目 [ 0 ]	科目 [ 0 ]	科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし
----

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	校舎敷地	683,348 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	683,348 m <sup>2</sup>		
	運動場用地	305,066 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	305,066 m <sup>2</sup>		
	小 計	988,414 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	988,414 m <sup>2</sup>		
	そ の 他	74,034,469 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	74,034,469 m <sup>2</sup>		
	合 計	75,022,883 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	75,022,883 m <sup>2</sup>		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
		698,292 m <sup>2</sup> ( 698,292 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	698,292 m <sup>2</sup> ( 698,292 m <sup>2</sup> )		
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
		123 室	120 室	1,157 室	12 室 (補助職員 6人)	3 室 (補助職員 3人)	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		
		統合新領域学府ユーザー感性学専攻 (博士後期課程)			19 室		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル			
		冊	種	[うち外国書]	点	点	点
	統合新領域学府 ユーザー感性学 専攻 (博士後期 課程)	982,945 [419,489] (982,945 [419,489])	30,945 [13,009] (30,945 [13,009])	48,276 [40,115] (48,276 [40,115])	33,018 (33,018)	139 (139)	5,641 (5,641)
計	982,945 [419,489] (982,945 [419,489])	30,945 [13,009] (30,945 [13,009])	48,276 [40,115] (48,276 [40,115])	33,018 (33,018)	139 (139)	5,641 (5,641)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	16,918 m <sup>2</sup>		826 席		1,269,167 冊		
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	3,379 m <sup>2</sup>		・野球場1面 ・400mトラック1面 ・一般運動場 ・25mプール ・その他				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円
	共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
学生納付金以外の維持方法の概要		国費による					

(注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	九州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定学員	収定容員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍			
人文科学府									
人文基礎専攻					修士(文学)		平成12年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号	
修士課程	2	16		32	博士(文学)	0.68			
博士後期課程	3	7		23		0.60			
歴史空間論専攻							同上		
修士課程	2	20		40		0.50			
博士後期課程	3	9		29		0.68			
言語・文学専攻							同上		
修士課程	2	20		40		0.70			
博士後期課程	3	9		29		1.10			
比較社会文化学府									
日本社会文化専攻					修士(比較社会文化)		平成12年度	福岡県福岡市西区 大字元岡744番地	
修士課程	2	24		48	修士(理学)	1.56			
博士後期課程	3	20		60		0.91			
国際社会文化専攻					博士(比較社会文化)		同上		
修士課程	2	26		52	博士(理学)	0.72			
博士後期課程	3	20		60		0.60			
人間環境学府									
都市共生デザイン専攻					修士(人間環境学)		平成12年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号	
修士課程	2	20		40	修士(文学)	1.10			
博士後期課程	3	5		15	修士(教育学)	1.00			
人間共生システム専攻					修士(心理学)		同上		
修士課程	2	11		22	修士(工学)	0.45			
博士後期課程	3	9		27		1.03			
行動システム専攻					博士(人間環境学)		同上		
修士課程	2	17		34	博士(文学)	0.96			
博士後期課程	3	10		30	博士(教育学)	1.03			
教育システム専攻					博士(心理学)		平成17年度		
修士課程	2	19		38	博士(工学)	0.73			
博士後期課程	3	9		27		0.88			
空間システム専攻					臨床心理修士 (専門職)		平成12年度		
修士課程	2	28		56		1.55			
博士後期課程	3	7		21		0.42			
実践臨床心理学専攻							平成17年度		
専門職学位課程	2	30		60		0.90			
法学府									
法政理論専攻							平成22年度	福岡県福岡市東区 東区箱崎6丁目 19番1号	
修士課程	2	72		134	修士(法学)	0.55			
博士後期課程	3	17		51	博士(法学)	0.31			
法務学府									
実務法学専攻					法務博士		平成16年度	福岡県福岡市東区 東区箱崎6丁目 19番1号	
専門職学位課程	3	70		230	(専門職)	0.85			

経済学府								福岡県福岡市東区 東区箱崎6丁目 19番1号
経済工学専攻								
修士課程	2	20	40	修士(経済学)	0.72	平成12年度		
博士後期課程	3	10	30	博士(経済学)	0.66			
経済システム専攻								
修士課程	2	27	54	経営修士 (専門職)	0.85	平成15年度		
博士後期課程	3	14	42		0.57			
産業マネジメント専攻								
専門職学位課程	2	45	90		0.97	同上		
理学府								福岡県福岡市 東区箱崎6丁目 10番1号
物理学専攻								
修士課程	2	41	82	修士(理学)	1.07			
博士後期課程	3	14	42	博士(理学)	0.47			
化学専攻								
修士課程	2	62	124		1.04			
博士後期課程	3	19	57		0.46			
地球惑星科学専攻								
修士課程	2	41	82		0.87			
博士後期課程	3	14	42		0.52			
数理学府								福岡県福岡市西区 大字元岡744番地
数理学専攻								
修士課程	2	54	108	修士(数理学)	0.98	平成12年度		
博士後期課程	3	20	60	修士(技術数理学)	0.96			
				博士(数理学)				
				博士(機能数理学)				
システム生命科学府								福岡県福岡市 東区箱崎6丁目 10番1号
システム生命科学専攻								
博士課程	5	54	270	修士(システム生命科学)	1.49	平成15年度		
				修士(理学)				
				修士(工学)				
				修士(情報科学)				
				博士(システム生命科学)				
				博士(理学)				
				博士(工学)				
				博士(情報科学)				
医学系学府								福岡県福岡市 東区馬出3丁目 1番1号
医学専攻								
博士課程	4	107	428	修士(医科学)	1.14	平成20年度		
医科学専攻				修士(看護学)				
修士課程	2	20	40	修士(保健学)	1.00	平成15年度		
保健学専攻				博士(医学)				
修士課程	2	20	40	博士(看護学)	1.45	平成19年度		
博士後期課程	3	10	30	博士(保健学)	1.26	平成21年度		
医療経営・管理学専攻								
専門職学位課程	2	20	40	医療経営・管理学修士 (専門職)	1.05	平成13年度		
歯学府								福岡県福岡市 東区馬出3丁目 1番1号
歯学専攻	4	43	172	博士(歯学)	1.06	平成12年度		
博士課程				博士(臨床歯学)				
				博士(学術)				

薬学府								福岡県福岡市 東区馬出3丁目	
創薬科学専攻									
修士課程	2	55		110	修士（創薬科学）	0.89	平成22年度	1番1号	
博士後期課程	3	12		24	博士（創薬科学）	1.95	平成24年度		
医療薬科学専攻									
博士後期課程	3	—		—	博士（臨床薬学）	—	平成12年度		※平成24年度より学生募集停止（創薬科学専攻博士後期課程、医療薬学専攻博士後期課程）
創薬科学専攻							同上		
博士後期課程	3	—		—		—			
臨床薬学専攻							平成24年度		
博士課程	4	5		10		1.60			
工学府								福岡県福岡市西区 大字元岡744番地	
物質創造工学専攻									
修士課程	2	38		76	修士（工学）	1.13	平成12年度		
博士後期課程	3	10		30	博士（工学）	1.43			
物質プロセス工学専攻								同上	
修士課程	2	30		60		1.16			
博士後期課程	3	9		27		0.88			
材料物性工学専攻								同上	
修士課程	2	33		66		0.95			
博士後期課程	3	7		21		1.33			
化学システム工学専攻								同上	
修士課程	2	35		70		1.24			
博士後期課程	3	10		30		0.90			
建設システム工学専攻								同上	
修士課程	2	24		48		1.03			
博士後期課程	3	8		24		1.33			
都市環境システム工学専攻								同上	
修士課程	2	28		56		1.26			
博士後期課程	3	8		24		0.83			
海洋システム工学専攻								同上	
修士課程	2	21		42		1.32			
博士後期課程	3	8		24		0.54			
地球資源システム工学専攻								同上	
修士課程	2	20		40		1.70			
博士後期課程	3	8		24		1.20			
エネルギー量子工学専攻								同上	
修士課程	2	28		56		1.17			
博士後期課程	3	12		36		0.58			
機械工学専攻								平成22年度	
修士課程	2	62		124		1.26			
博士後期課程	3	19		57		0.69			
水素エネルギーシステム専攻								同上	
修士課程	2	30		60		1.26			
博士後期課程	3	9		27		1.14			
航空宇宙工学専攻								平成12年度	
修士課程	2	30		60		1.23			
博士後期課程	3	12		36		0.61			

芸術工学府							福岡県福岡市	
芸術工学専攻				修士（芸術工学）	平成15年度		南区塩原4丁目	
修士課程	2	92	184	修士（デザイン・デザイン）	1.17	（平成16年4月	9番1号	
博士後期課程	3	25	75		0.74	学生受入）		
デザイン・デザイン専攻				博士（芸術工学）				
修士課程	2	28	56	博士（工学）	1.23	平成18年度		
博士後期課程	3	5	15		1.66	平成20年度		
システム情報科学府							福岡県福岡市西区	
情報学専攻				修士（情報科学）	平成21年度		大字元岡7-4-4番地	
修士課程	2	40	80	修士（理学）	1.16			
博士後期課程	3	14	42	修士（工学）	0.49			
情報知能工学専攻				修士（学術）		同上		
修士課程	2	45	90		1.26			
博士後期課程	3	15	45	博士（情報科学）	0.72			
電気電子工学専攻				博士（理学）		同上		
修士課程	2	55	110	博士（工学）	1.38			
博士後期課程	3	16	48	博士（学術）	0.70			
総合理工学府							福岡県春日市春日公園	
量子プロセス理工学専攻				修士（理学）	平成12年度		6丁目1番地	
修士課程	2	37	74	修士（工学）	1.44			
博士後期課程	3	14	42	修士（学術）	0.85			
物質理工学専攻						同上		
修士課程	2	37	74	博士（理学）	1.33			
博士後期課程	3	14	42	博士（工学）	0.87			
先端エネルギー理工学専攻				博士（学術）		同上		
修士課程	2	34	68		0.98			
博士後期課程	3	12	36		0.13			
環境エネルギー工学専攻						同上		
修士課程	2	26	52		1.05			
博士後期課程	3	9	27		0.80			
大気海洋環境システム学専攻						同上		
修士課程	2	30	60		0.96			
博士後期課程	3	11	33		0.33			
生物資源環境科学府							福岡県福岡市	
資源生物科学専攻				修士（農学）	平成22年度		東区箱崎6丁目	
修士課程	2	50	100		1.03		10番1号	
博士後期課程	3	19	57	博士（農学）	0.68			
環境農学専攻						同上		
修士課程	2	75	150		0.75			
博士後期課程	3	27	81		0.46			
農業資源経済学専攻						同上		
修士課程	2	13	26		0.80			
博士後期課程	3	5	15		1.00			
生命機能科学専攻						同上		
修士課程	2	106	212		0.89			
博士後期課程	3	12	36		0.61			
生物産業創成専攻						同上		
博士後期課程	3	14	42		0.94			

統合新領域学府 ユーザー感性学専攻				修士 (感性学)			福岡県福岡市 東区箱崎6丁目 10番1号
修士課程	2	30	60	修士 (芸術工学)	1.18	平成21年度	
博士後期課程	3	4	12	修士 (工学)	1.33	平成23年度	
オートモーティブサイエンス専攻				修士 (学術)		平成21年度	福岡県福岡市西区 大字元岡744番地
修士課程	2	21	42	修士 (ライブサイエンス)	1.14		
博士後期課程	3	7	21	博士 (感性学)	0.80		
ライブサイエンス専攻				博士 (芸術工学)	1.00	平成23年度	
修士課程	2	10	20	博士 (オートモーティブサイエンス)	1.00	平成25年度	
博士後期課程	3	3	3	博士 (工学)			
				博士 (学術)			

大学の名称	九州大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容量	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次	人		倍		
文学部 人文学科	4	160		640	学士 (文学) 学士 (学術)	1.04	平成12年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号
教育学部	4	50		200	学士 (教育学) 学士 (学術)	1.09	昭和24年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号
法学部	4	200		800	学士 (法学) 学士 (学術)	1.00	昭和24年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号
経済学部 経済・経営学科	4	150	3年次 10	620	学士 (経済学) 学士 (学術)	1.07	平成12年度	福岡県福岡市東区 東区箱崎6丁目 19番1号
経済工学科	4	90	3年次 10	380		1.02	昭和52年度	
理学部 物理学科	4	59		236	学士 (理学)	1.08	昭和24年度	福岡県福岡市 東区箱崎6丁目
化学科	4	67		268	学士 (学術)	1.04	"	10番1号
地球惑星科学科	4	48		192		1.06	平成2年度	
数学科	4	54	3年次 5	226		1.01	昭和24年度	
生物学科	4	49		196		1.11	"	
医学部 医学科	6	111		648	学士 (医学)	1.00	昭和24年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目
生命科学科	4	12		48	学士 (生命科学)	1.12	平成19年度	1番1号
保健学科	4	137		548	学士 (看護学) 学士 (保健学) 学士 (学術)	1.04	平成14年度 (平成 15年4月学生受入)	
歯学部 歯学科	6	53		329	学士 (歯学)	1.03	昭和42年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目 1番1号
薬学部 創薬科学科	4	50		200	学士 (創薬科学)	1.08	平成18年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目
臨床薬学科	6	30		180	学士 (薬学) 学士 (学術)	1.02	"	1番1号

工学部								福岡県福岡市	
建築学科	4	60	240	学士（工学）	1.05	昭和29年度		西区元岡	
電気情報工学科	4	158	632	学士（学術）	1.05	平成8年度		7 4 4 番地	
物質科学工学科	4	168	672		1.06	平成9年度			
地球環境工学科	4	150	600		1.06	平成10年度			
エネルギー科学科	4	99	396		1.06	〃			
機械航空工学科	4	169	676		1.08	平成11年度			
芸術工学部						平成15年度		福岡県福岡市	
環境設計学科	4	38	152	学士（芸術工学	1.04			南区塩原4丁目	H16.4 学生受入
工業設計学科	4	48	192	）	1.04			9番1号	
画像設計学科	4	38	152	学士（学術）	1.05				
音響設計学科	4	38	152		1.03				
芸術情報設計学科	4	40	160		1.04				
農学部				学士（農学）		平成10年度		福岡県福岡市東区	
生物資源環境学科	4	229	916	学士（学術）	1.05			箱崎6丁目10番1号	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。

（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科単位で記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。



## 5 教員組織の状況

<統合新領域学府 ユーザー感性学専攻（博士後期課程）>

### (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	綿貫 茂喜	平成23年4月1日	感性科学特論 U-ザ-感性学特別研究						
専	教授	森 周司	平成23年4月1日	感性科学特論 U-ザ-感性学特別研究						
専	教授	樋口 重和	平成23年4月1日	感性科学特論 上級PTL演習A U-ザ-感性学特別研究						
専	教授	南 博文	平成23年4月1日	感性コミュニケーション特論 上級PTL演習B U-ザ-感性学特別研究						
専	教授	藤枝 守	平成23年4月1日	感性コミュニケーション特論 上級PTL演習B U-ザ-感性学特別研究						
専	教授	清須美 匡洋	平成23年4月1日	感性価値クエーション特論 上級PTL演習C U-ザ-感性学特別研究						
専	准教授	金 克 奎	平成23年4月1日	感性科学特論 上級PTL演習A U-ザ-感性学特別研究						
専	准教授	池田 美奈子	平成23年4月1日	感性価値クエーション特論 上級PTL演習C U-ザ-感性学特別研究						
兼任	教授	森田 昌嗣	平成23年4月1日	感性価値クエーション特論						

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。
  - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
6	2	8	6	2	8	65	0
( 6 )	( 2 )	( 8 )	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	なし		
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし
----

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (22年10月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<統合新領域学府 ユーザー感性学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備  a 事務室 教員室：1室（34m <sup>2</sup> ） 旧工学部5号館5階	① 事務体制を充実するため、人員の増員を行い、あわせて、事務室の拡張を行った。  事務室 78 教員室：1室（34m <sup>2</sup> ） 旧工学部5号館5階

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

統合新領域学府では「学府長・専攻長会議」を定期的に行い教育内容に係る協議を行うと共に、各専攻においても独自の取り組みを行っている。

ユーザー感性学専攻においては、教育の質の向上を図るため、専攻運営会議を開催し諸課題への対応策を協議すると共に、専攻独自のソーシャルネットワークを準備しつつ、ユーザーである学生の意見や要望を教育研究活動に反映していく体制を構築している。

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

学府長・専攻長会議：原則毎月1回程度（学府長及び専攻長が参加予定）

専攻運営会議：原則毎月1回。（毎回半数以上の教員が参加予定）

#### c 委員会の審議事項等

##### ○学府長・専攻長会議

- ・学府及び各専攻の現状把握

##### ○専攻運営会議

- ・専攻の運営等
- ・入学試験の実施方法

### ② 実施状況

#### a 実施内容

- ・専攻教育全般についての学生からの意見の聴取とそれへの対応
- ・授業方法、コミュニケーションのスタイル
- ・専攻の独自性や目標についての相互理解

#### b 実施方法

- ・教員と学生との「ソーシャルネットワーク」を準備し、自由に話題を出し、それへの応答という形で進める予定である。
- ・授業については、オリエンテーションや共同演習の場で、教員相互にコミュニケーションのスタイル、授業の進め方などを参照し、互いの指導方法の特徴や癖についての気づきを得る機会を持っている。

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・年間を通じて適当な時期をみて、開催する予定。

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生からの率直な反応を聞いて、授業負担の適切さ、事前のオリエンテーションで伝えるべき内容の拡充などの点で、修正を行い、次回の実施方法の改善に反映させることを考えている。

### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

#### a 実施の有無及び実施時期

カリキュラムが研究指導科目で構成されているため、授業評価アンケートは実施しない。

#### b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートを実施しないため、公開はない。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
(別紙のとおり)
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表(予定)時期  
・平成26年5月1日 公表
- b 公表方法  
・自己点検・評価報告書を刊行し、関係自治体、企業及び希望があった学生に各1冊を配布  
・上記報告書の公表後、統合新領域学府のホームページ上においても公開(平成26年8月末を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画  
・本学では、平成19年度に評価機関(大学評価・学位授与機構)の評価を受けている。  
・次回は、平成25年度に大学評価・学位評価授与機構の評価を受けるべく、学内で検討している。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 25年 6月 1日 )

## 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本専攻は、知の活用主体であるユーザーの観点から、また感性を基盤とする人間理解の上に立って感性価値の創造を推進する専門人材の養成を目的として、平成21年4月に修士課程を設置したが、更に、今後の本学問分野における更なる知の統合と、より高度な教育と研究を実践することを目指し、平成23年4月に博士後期課程を設置した。

ユーザー感性学専攻博士後期課程の第3回目となる平成25年度入学試験においては、定員4名に対して2名が受験した。入学試験においては、学習意欲と大学院修士課程等での専門知識の習得が高度にかつバランスよく保たれている人材を確保するために、入学者選抜は、出願書類審査、修士論文の概要および博士課程での研究内容を英語でプレゼンテーションさせ、英語による質疑応答を複数の教員で実施し、2名を合格者とした。さらに、社会人や外国人のニーズを踏まえ、10月入学者の募集を行う予定である。

また、入学生に対し、入学直後にオリエンテーションを実施し、本専攻における開講科目や履修体系について説明した。博士後期課程の研究の特徴は、「感性科学」「感性コミュニケーション」「感性価値クリエーション」という3つの領域における専門性を特化させるだけではなく、それぞれの領域を積極的に統合することを目的とする。そのために、複数の領域の教員が協力しながら、学生の指導にあたる。具体的には、主指導教員の専門とする領域以外の教員を副指導教員として配置するなどし、統合的にユーザー感性学特別研究の指導を行う。

さらに、ユーザー感性学専攻では、学問と社会との新たな関係性構築のための地域活動をPTL等の方法で積極的に推進しており、複数の教員がこれらに関わる事を通じて、博士後期課程における教育と研究の統合の方向を探究している。

今後、定期的なFDや自己点検・評価を実施し、本学府ユーザー感性学専攻博士後期課程における教育研究の質の向上を図っていく。